

レクサス6kW充電器

取付要領書

このたびは、レクサス純正「レクサス6kW充電器（以下、充電器）」をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、充電器の取り付け要領について記載してあります。

施工前に必ずお読みいただき、正しい取り付けをおこなってください。

充電器は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

配線工事は、「電気設備の技術基準」および「内線規程」に基づいて施工してください。

本書には充電器の性能・機能を十分に発揮させ、安全に取り付けいただくための方法を記載しています。

以下のような場合は事故や故障の責任は負いかねます。

- ・ 本書に記載されていない方法で施工された場合
- ・ 指定の部品を使用せずに施工された場合

本書に記載されている仕様をはじめとする各事項は、予告なく変更することもございますので、ご了承ください。本書の内容を無断で転載することは禁止します。

「取扱書」「取付要領書」は、必ずお客様にお渡しください。

品番

充電器（5m）	G95A0-46010
充電器（10m）	G95A0-46020
家庭用CT（オプション）	G42A5-42010

構成

No.	品名	個数
1	充電器本体	1
2	トップカバー	1
3	背面パネル	1
4	ケーブルホルダー	1
5	トルクスねじ（予備）	1
6	木ねじ（5.1×50 SUS）（予備×1含む）	4
7	取付ねじ（M5×10 SUS）（予備×1含む）	3
8	家庭用CT（オプション）（別梱包）	2
9	取付要領書（本書）	1
10	取扱書	1

取り付けに必要な工具等

・ 一般工具等

■ 共通

トルクドライバーまたはトルクアダプター（1.4N・m、トルクスT25）、プラスドライバー、ワイヤーストリッパー、スマートフォン（無線LAN接続）、養生テープ、回路計、接地抵抗計、クランプメーター（オプション使用時）

■ 壁内配線をする場合

電動ドリル、背面穴加工用ホルソー（推奨φ38）、コーキング剤

・ 施工部材

下記部材は付属されておりません。

施工方法、施工箇所を考慮した適切なものを施工前にご用意ください。

（※1）デマンドコントロール機能（オプション）を使用する場合

■ 共通

部材名	備考
電源線（適用電線）	より線：8mm ²
アース線	2mm / 3.5mm ²
CT延長ケーブル（※1）	VCTF-4C（0.5 または 0.75sq） 最長 50m
CTセンサー、 CT延長ケーブル接続用端子（※1）	CTケーブル（0.5sq）と CT延長ケーブルを接続するコネクタ 4個

■ 露出配線をする場合

部材名	備考
電線管	近似内径φ22mm 近似内径φ28mm（※1）
電線管コネクタ	近似内径φ22mm 異径コネクタφ22mm / φ28mm（※1）

■ 壁内配線をする場合




部材名	備考
電線管キャップ または グロメット	電線管コネクタ、キャップ：近似内径φ22mm用 グロメット：取付穴径28mm

■ 漏電ブレーカー ※必ず1回路に1個の漏電ブレーカーを設置してください

充電器設定	定格電流	感度電流	推奨漏電ブレーカー
6kW	40A	15mA	品番：ZL 62-40-15（河村電器産業（株）） 品番：GE52CX-EV 2P 40A F15（日東工業（株））
3kW	20A	15mA	品番：ZL 62-20-15（河村電器産業（株）） 品番：GE52CX-EV 2P 20A F15（日東工業（株））

注意 / 警告

- (1) お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- (2) 誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害は次の表示と意味で区別して説明しています。

 警告	死亡 または 重傷の発生が想定される内容
 注意	中程度の傷害や軽症の発生 あるいは 発生する恐れが想定される内容
注意	物的損害の発生 あるいは 発生する恐れが想定される内容
 アドバイス	スピーディに作業するうえで作業者に知っておいて欲しいこと

・安全上のご注意

警告

- **電気工事は「有資格者」がおこなう**
有資格者以外の作業は法律で禁止されています。
- **本製品の回路は漏電遮断器を使用し、専用回路とする**
漏電遮断器は、内線規程等の関連法規を遵守した、高感度・高速型のものを選定する。
- **施工時は必ず専用分岐回路（漏電ブレーカー）を「OFF」にする**
活線状態での施工は感電して重傷を負う恐れがあります。
- **取付要領書・取扱書にしたがって操作をおこなう**
取付要領書・取扱書に記載されていない方法で使用された場合の事故や故障の責任は負いかねます。
- **煙や異臭・異音がしたとき、過熱・発火したときは施工・使用を中止する**
お問い合わせ先までご連絡ください。
- **電源は商用電源单相 200VAC（50/60Hz）を使用し、対地電圧は 150V 以下とする**
火災・発火・発熱・故障の恐れがあります。
- **指定の電線・ケーブルを使用し、端子台への接続は確実におこなう**
火災の原因となる可能性があります。
- **電源・ケーブルの接続後、内蓋を確実に取り付ける**
端子部に触れ、感電して重傷を負う恐れがあります。
- **施工後、ねじの締め忘れを確認する**
火災・故障の恐れがあります。
- **電気機器の定格電圧を守る**
火災・発火・発熱・故障の恐れがあります。
- **雷が鳴ったら本製品に触らない**
感電して重傷を負う恐れがあります。
- **通電部に触らない**
感電して重傷を負う恐れがあります。
- **定格電圧・定格電流を超えて使用しない**
火災・焼損の原因となる可能性、重傷を負う恐れがあります。
- **傷や曲がった電線などを接続しない**
発熱して火災・焼損の原因となる可能性、重傷を負う恐れがあります。
- **電線・ケーブルを乱暴な取り扱いで破損させたり、破損した状態で使用しない**
感電して重傷を負う恐れがあります。
- **指定された箇所以外のねじを外さない**
故障して重傷を負う恐れがあります。

警告

- **内部に水や異物を入れない**
感電して重傷を負う恐れがあります。
また破損や故障する恐れがあります。
- **充電コネクタケーブルがねじれた状態で使用しない**
充電コネクタケーブルの破損・断線により感電・火災の原因となります。
- **ペースメーカー・ICD（植込み型除細動器）をお使いの方は本製品に密着するような姿勢をとらない**
充電中、電磁波がペースメーカー・ICD（植込み型除細動器）に一時的な影響を与える場合があります。
- **充電器内の透明保護カバーは絶対に外さない**
感電して重傷を負う恐れがあります。
- **D種接地工事（接地抵抗 100Ω以下（本書指定仕様の施工を行う場合は 500Ω以下））をおこなう**
感電・火災の原因となります。
- **専用分岐回路として設けた漏電ブレーカーの動作を確認する**
感電・火災の原因となります。
- **充電コネクタケーブルをケーブルホルダーへ、地面に接触しないように巻き付ける（推奨巻き回数は、充電コネクタケーブル 約 5m: 3 巻き、約 10m: 6 巻き）**
充電コネクタケーブルの線が断線し発熱・火災・感電や故障の原因となります。
- **可燃性ガスや引火物の近くに設置しない**
火災の原因となります。
- **浸水するところには設置しない**
感電・火災の原因となります。
- **壁面に固定する場合は背面パネルと壁面との間にコーキングを施す**
感電・火災の原因となります。
- **分解や改造をしない**
分解や改造または修理などで生じた事故について一切責任を負いません。
- **内蓋を外したところから不用意に指や工具を入れない**
感電の原因となります。
- **内蓋・トップカバーは無理に取り外したり、すき間がある状態で取り付けない**
すき間から水が入り、感電・火災や故障の原因となります。
- **製品に水をかけて清掃しない**
感電・火災や故障の原因となります。
- **製品をビニール袋や布などで覆わない**
火災や製品が破損する原因となります。
- **端子台推奨電線サイズに適合した電線を接続する**
電線の接続は緩みやすく火災の恐れがあります。
また正しく動作しない恐れがあります。

注意

- **施工時または点検時には安全靴・ヘルメット・作業着など適切な安全具を装着する**
正しく装着していないとけがをする恐れがあります。
- **作業の順番を施工前に確認する**
正しく施工できず、破損や変形・故障の恐れがあります。
またけがをする恐れがあり、感電・火災の原因となります。
- **脚立などの足場を使用する場合は安定した平らな位置に置く**
落下してけがをする恐れがあります。
- **丈夫で垂直な壁に設置する**
落下し、破損や変形・故障・けがをする恐れがあります。
- **LEDと本体を繋ぐケーブルのコネクタを外さない**
充電器の状態がわからないため、異常な状態で使用を続けるとけがや製品破損の原因となります。

⚠ 注意

- **貼付されているシールは絶対に剥がさない**
誤って使用・操作した場合、破損や変形・故障・けがをする恐れがあります。
- **運搬・移動・設置するときは、段ボールの天面フラップが上を向くようにする、落とさない**
破損や変形、けがをする恐れがあります。
- **荷崩れしないように保管する**
段ボールを上下逆さまや不安定な場所に置いたりすると、荷崩れしてけがの原因となります。
- **運搬、設置の際は周囲の安全を十分確認する**
落下・転倒によるけがの原因となります。
- **積もった雪・つららをそのまま放置しない**
積雪やつららが発生した場合は早めに除去してください。
除去するときは身の安全および周囲の人などに十分注意してください。
- **施工中、仮固定のまま製品を放置しない**
落下して製品が破損したり、けがをする原因となります。
- **充電コネクタケーブルは、地面に触らないように巻き付ける**
足を引っかけて、けがをする原因となります。
- **製品の上に乗ったり、もたれかからない**
転倒してけがをしたり、製品が破損する原因となります。
- **乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしない**
破損や変形・けがをする恐れがあります。

注意

- **充電コネクタや充電コネクタケーブルを踏みつけたり、引張ったり、地面に落下させない**
破損の原因となります。
- **トップカバーは地面に置いたり、上に物を重ねない**
傷がつく原因となります。
- **内蓋には本体からの保護ワイヤーが付いているため、本体から完全に取り外さない**
無理に引っ張ると破損の恐れがあります。
- **内部の機器が雨水等で被水しないように作業する**
内部の機器が被水すると故障する恐れがあります。
- **隙間に異物を差し込まない**
故障の恐れがあります。
- **指定の部品以外の取り付けはおこなわない**
強度不足など不具合が発生する原因となります。
- **露出配管する場合は、必ず電線管を使用する**
断線・漏電の原因となります。
- **開梱作業時は、刃物などで製品に傷をつけないよう十分に気を付ける**
キズ・破損・変形の原因となります。
- **落下など強い衝撃を加えない**
故障・破損の原因となります。
- **CTに落下など強い衝撃が加わった後は、使用しない**
故障・破損の原因となり、正しい計測がおこなえない恐れがあります。
- **CTの向き、配線の色合わせに気を付ける**
正しく計測がおこなえません。
- **絶縁抵抗計（メガー）を極間で使用しない**
電源－接地間で絶縁抵抗を測定する場合は、電源端子台から電源線・アース線を外し、
電源線－アース線間で実施してください。
極間に電子部品が接続されており、製品が破損する原因となります。

・ 施工上のご注意

警告

【設置・結線について】

- 設置工事・結線工事に必要のないねじは絶対に締め付けたり、緩めない
正しく施工できず、破損や変形・故障の恐れがあります。

注意

【設置・結線について】

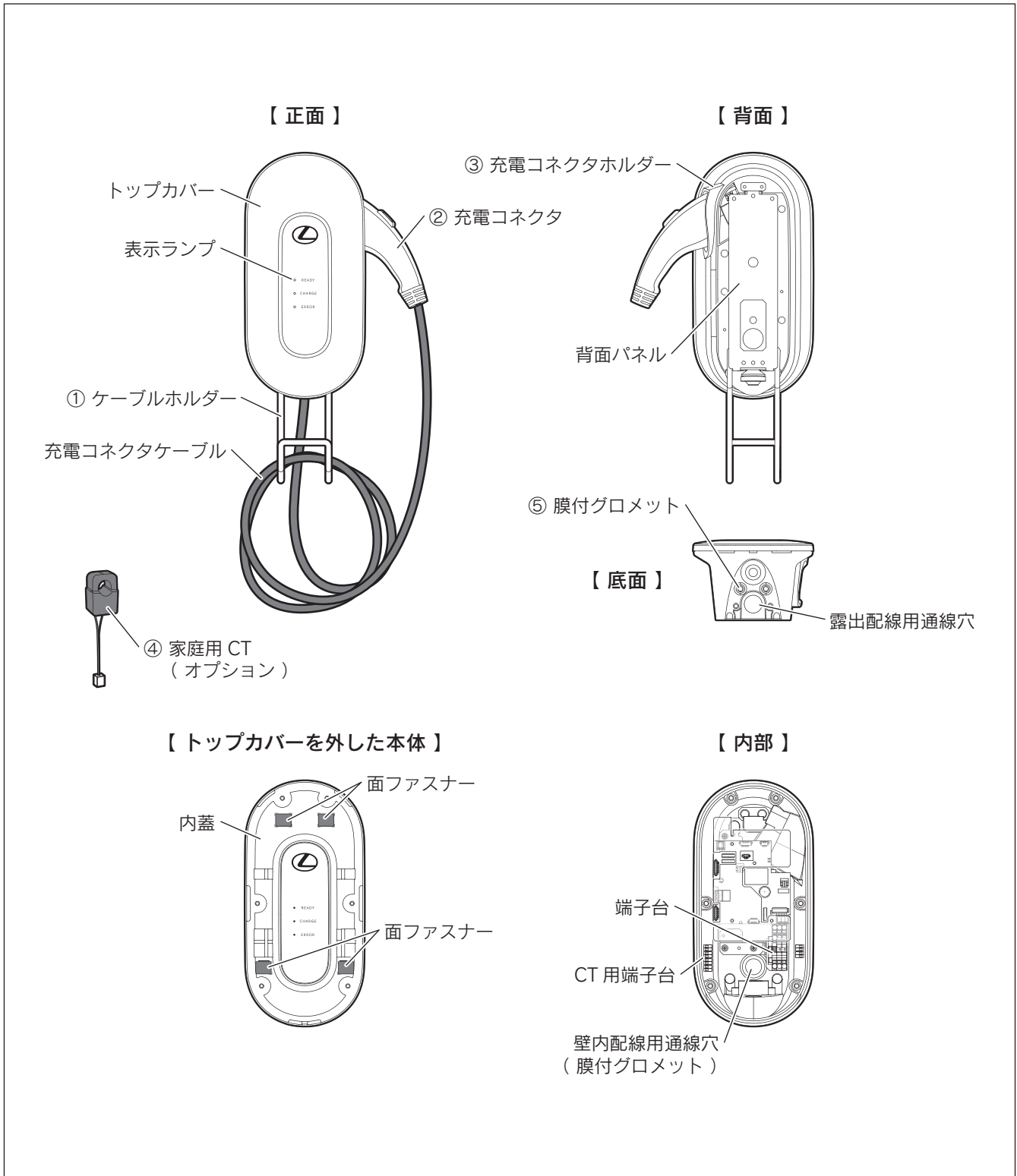
- ねじは指定の締め付けトルクで取り付ける
破損の原因となります。
- 壁面内部に影響がないように固定ねじの長さを選定する
正しく施工できず、破損や変形・故障・壁面内部にねじが出る恐れがあります。
- 事前に施主さまと打合せをおこない、設置場所は下記で定める条件を満たしていることを確認する
正しく施工できず、破損や変形・故障の恐れがあります。
- 設置に必要なスペースを確保するとともに、操作に支障がないことを確認する
本体外形より上面は 100mm 以上、右面は 300mm 以上、左面は 100mm 以上空けて設置する
充電コネクタの抜き差しに支障・故障時の修理が困難になる恐れがあります。
- 水平垂直に施工する
正しく施工できず、破損や変形・故障の恐れがあります。
- 堅牢な壁に堅固に取り付ける
使用時の引っ張りやぶつかりなどによる負荷がかかり破損の恐れがあります。
- 次のような場所には設置しない
正しく施工できず、破損や変形・故障の恐れがあります。

- ・ 使用時に充電コネクタケーブルが引っ張られた状態になるところ
- ・ 通行の妨げとなる場所
- ・ 階段や避難路などの付近で避難の支障となる場所
- ・ 不安定な場所
- ・ 壁面に十分な強度がない場所
- ・ 極端に高いまたは低い場所
- ・ 使用温度範囲（ -30°C ～ 50°C ）以外の場所
- ・ ストープやヒーターなどの発熱器のそばなど温度の高い場所
- ・ クーラーや暖房機のそばなど温度変化の激しい場所
- ・ 腐食性や可燃性の気体や蒸気が発生・充満した場所
- ・ 融雪剤の影響がある場所
- ・ 冠水する場所
- ・ 湿度が 95% を超える場所、または 湿気が多く結露が発生する場所
- ・ 粉塵が多い場所
- ・ 振動が多い場所
- ・ 油煙があたるような場所
- ・ 塩分による汚染が発生する場所
- ・ 周辺の電波の影響を受けるところ
- ・ ノイズの影響を受けるところ
- ・ 強い磁気を発生する場所
- ・ 強風があたる場所
- ・ 標高が 2500m より高い場所
- ・ 車がぶつかるような場所
- ・ 可燃性ガスや引火物が近くにある場所
- ・ 段差のある壁面がある場所

【その他】

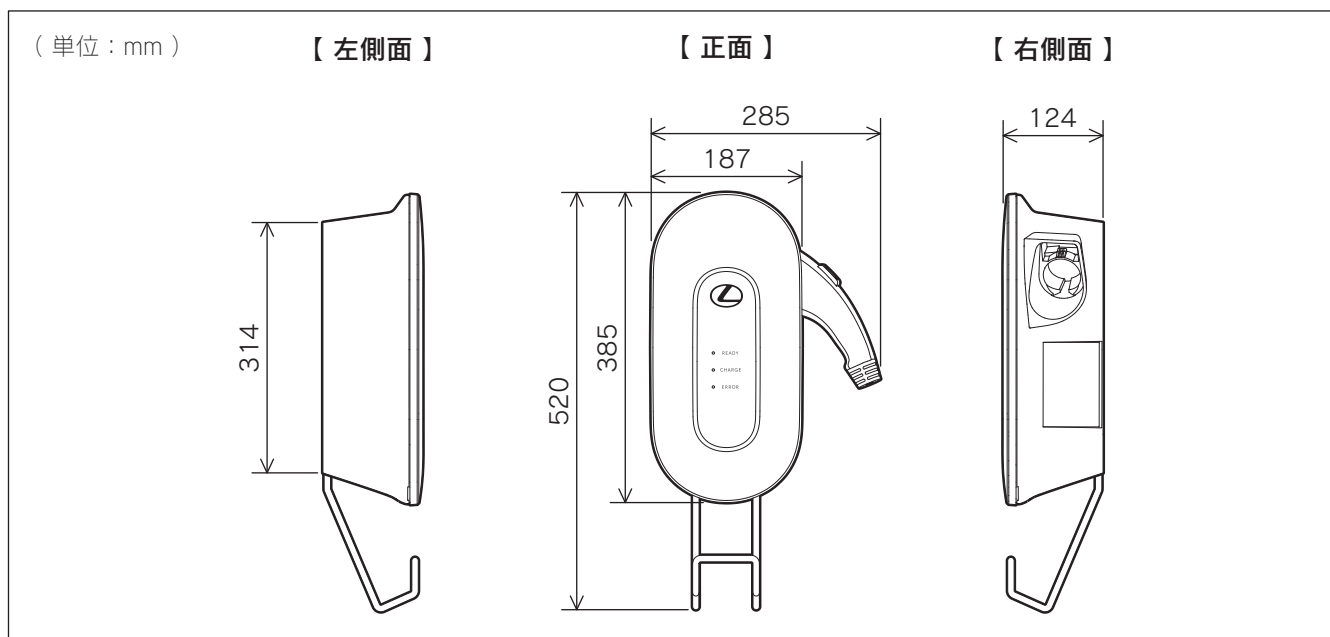
- 施工時の汚れを落とすときは中性洗剤を使用する
アルコールやベンジン・シンナーなどは変質・変色・変形などの原因となります。
- 製品に付着したリシン・モルタル・コンクリートなどは速やかに清掃する
硬化後取ろうとすると変質・変色・変形・キズなどの原因となります。

各部の名称とはたらき



No.	名称	はたらき
①	ケーブルホルダー	充電コネクタケーブルの余長を巻き付け、充電コネクタケーブルを保持します
②	充電コネクタ	電気自動車と充電器を接続する装置
③	充電コネクタホルダー	充電コネクタを挿し込むことで、充電コネクタを保持します
④	家庭用 CT (オプション)	デマンドコントロール機能用に、家庭の電流を計測します
⑤	膜付グロメット	拡張機能用の通線穴です

外形寸法



仕様・定格

品名	レクサス 6kW 充電器	
品番	G95A0-46010	G95A0-46020
定格電圧	単相 200VAC	
定格周波数	50 / 60Hz	
出力電力	6kW	
使用温度範囲	-30 ~ 50℃	
外形寸法	W187mm×H385mm×D124mm	
充電コネクタケーブルの長さ	約 5m	約 10m
質量 ※ 充電コネクタを含む	4.9 kg	7.1 kg
保護等級	IP55 相当 (充電コネクタ部を除く)	
適用電線	8 mm ²	
充電コネクタ	SAE J1772 Type-1	
設置タイプ	壁掛け	

施工方法

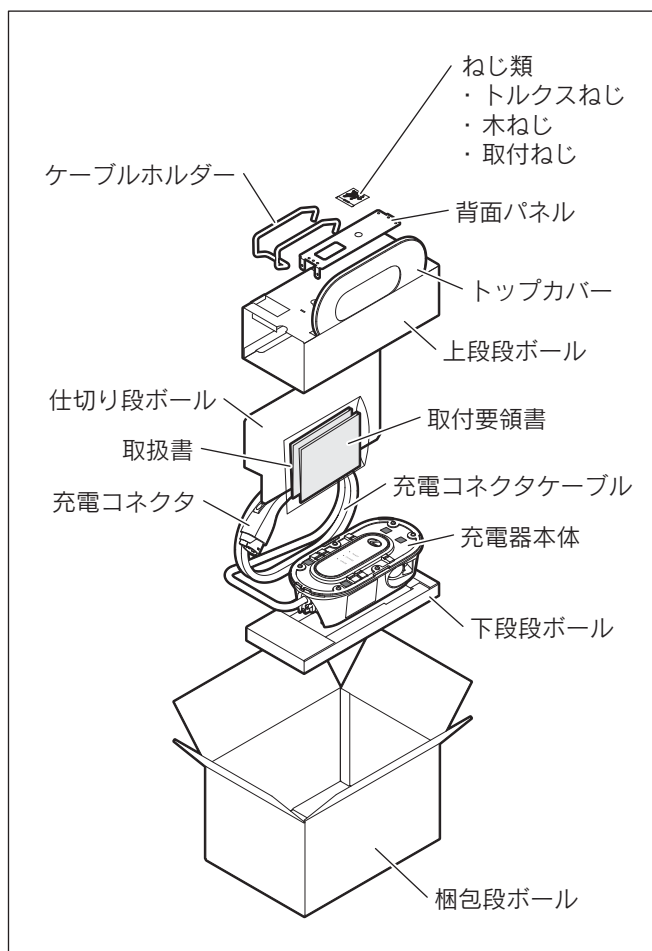
警告

- 電気工事は「有資格者」がおこなう
有資格者以外の作業は法律で禁止されています。
- 施工時は必ず専用分岐回路（漏電ブレーカー）を「OFF」にする
活線状態での施工は感電して重傷を負う恐れがあります。
- D種接地工事（接地抵抗 100Ω以下（本書指定仕様の施工を行う場合は 500Ω以下））をおこなう
感電・火災の原因となります。

注意

- 「電気設備の技術基準」「内線規程」に従って施工し、必ず専用回路を使用する
- 内蓋には LED 表示と本体を繋ぐケーブルが取り付けられているため、丁寧に開ける
保護ワイヤーが付けられていますが、勢いよく内蓋を開けると故障・破損の恐れがあります。
- 施工前に施工に必要な工具や部材（P.02）を確認し準備する
- 必ず 1 回路につき 1 個の漏電ブレーカーを設置する
- 電源端子台への配線は確実に接続する
- CT に落下など強い衝撃が加わった後は、使用しない
故障・破損の原因となり、正しい計測がおこなえない恐れがあります。
- ねじは指定の締め付けトルクで取り付ける
破損の原因となります。

梱包姿図



- ① 段ボール天面から開き「ケーブルホルダー」「ねじ類」「背面パネル」「トップカバー」「取付要領書」「取扱書」を取り出します。
- ② 仕切りの「仕切り段ボール」「上段段ボール」を取り外します。
- ③ 「充電器本体」「充電コネクタケーブル」を「充電コネクタ」を取り出します。



アドバイス

梱包段ボールから下段段ボールを引き出さずに全ての商品を取り出せます。

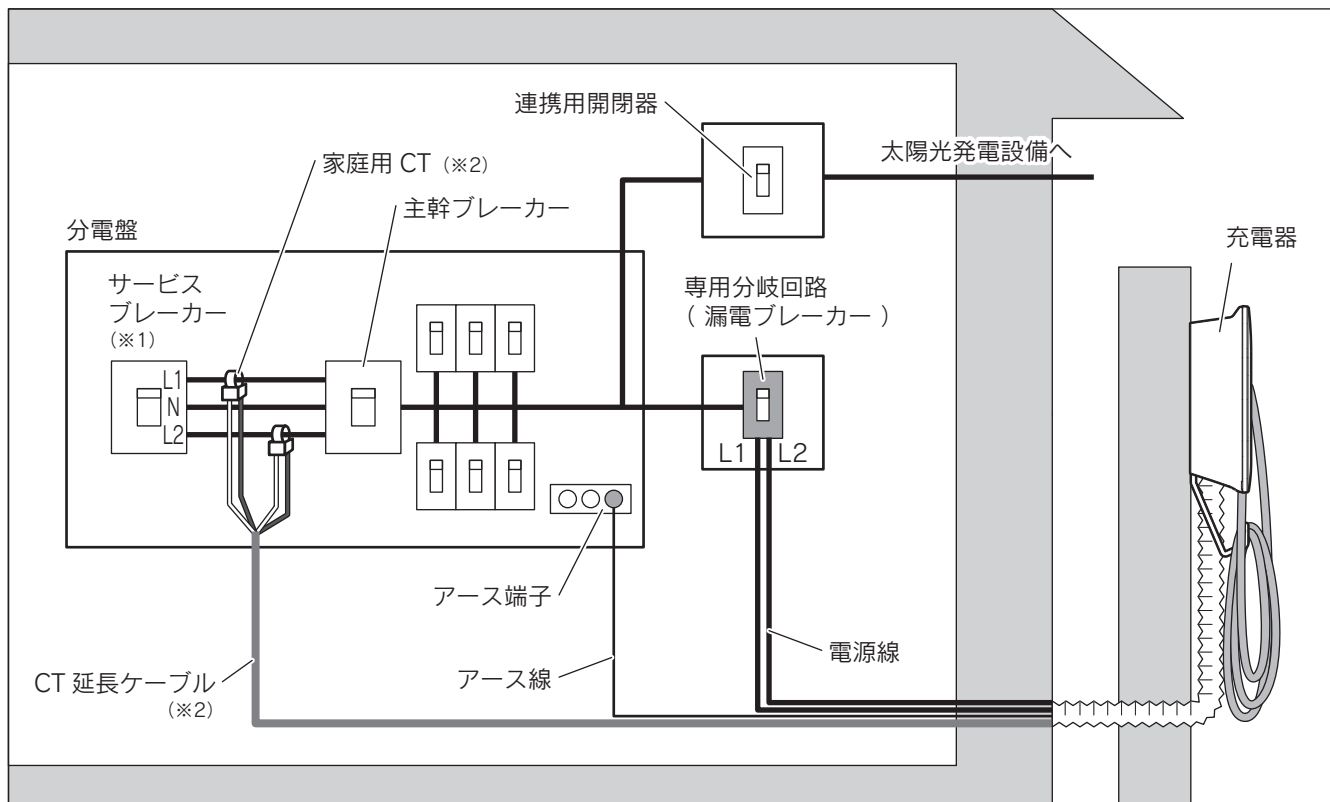
・ システム配線例

以下に示す配線は一例です。太陽光・蓄電池などの付帯環境に合わせた施工をおこなってください。
家庭用 CT (※2) は宅内の全電流が測定できる屋内の環境に施工してください。

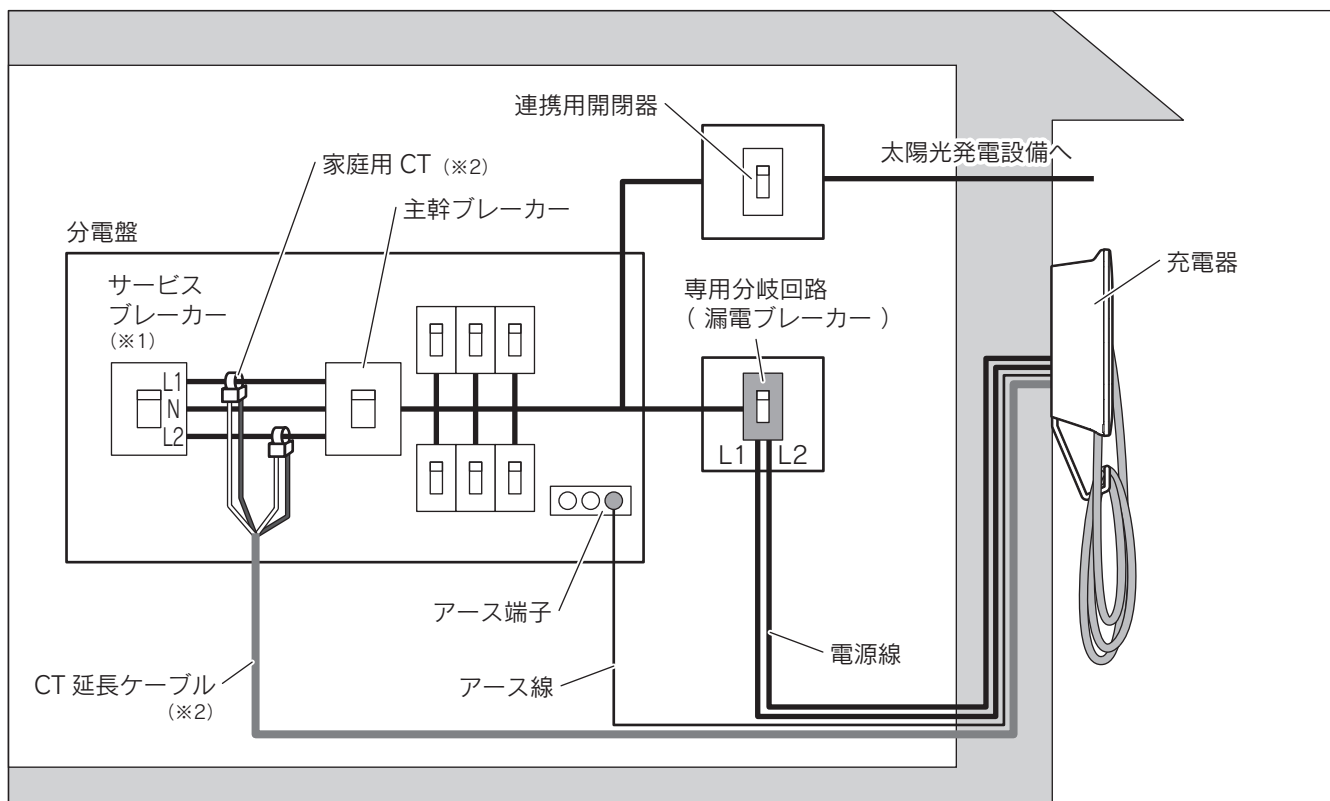
(※1) サービスブレーカーは管轄の電力会社によってあり/なしが変わります。

(※2) デマンドコントロール機能 (オプション) を使用する場合

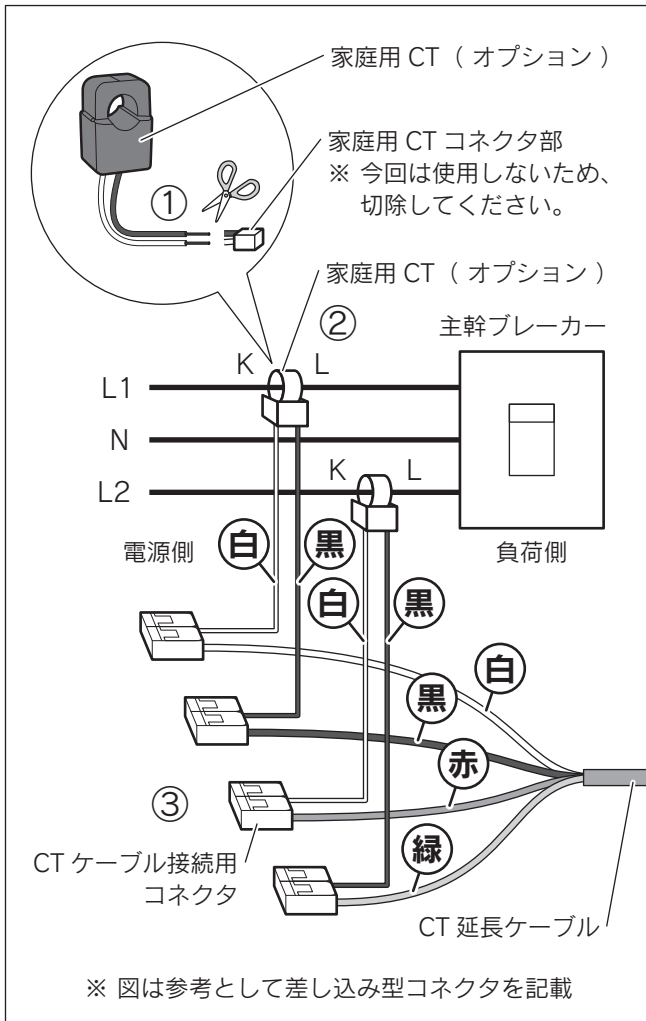
■ 露出配線の場合



■ 壁内配線の場合



・ 家庭用CTの取付（オプション）

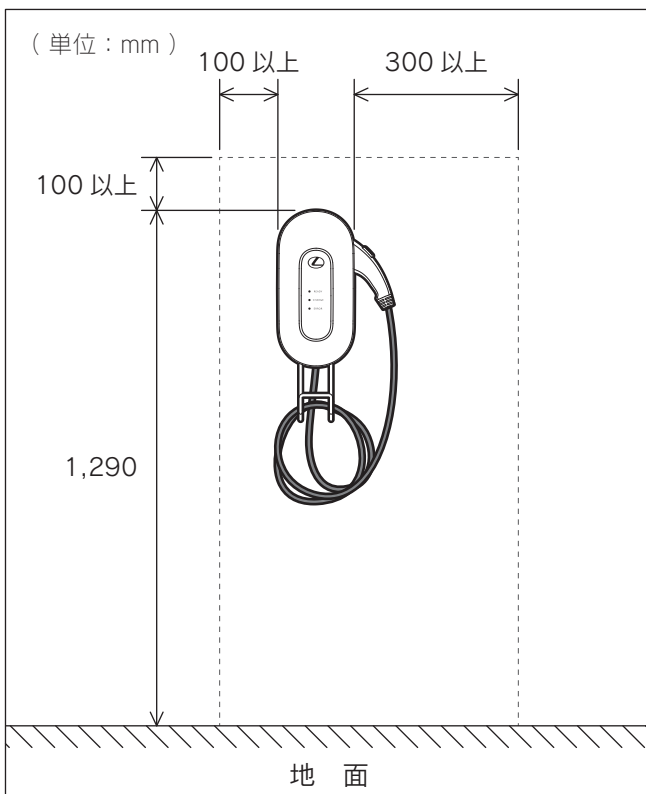


- ① 家庭用 CT のコネクタ部を切り、CT ケーブル接続用コネクタに合わせて被覆を剥きます。
- ② 図のように L1、L2 共に K と L の向き（K 側を系統側、L 側を主幹ブレーカーの向き）に気を付けて取り付けてください。
- ③ 家庭用 CT のケーブルから延長する CT 延長ケーブルに図のように色を合わせて接続してください。

注意

- 家庭用 CT を取り付ける相と向きに注意して取り付ける
デマンドコントロール機能が正しく動作せず停電につながる恐れがあります。

・ 充電器の推奨取付位置



壁に充電器を設置する位置を決めます。

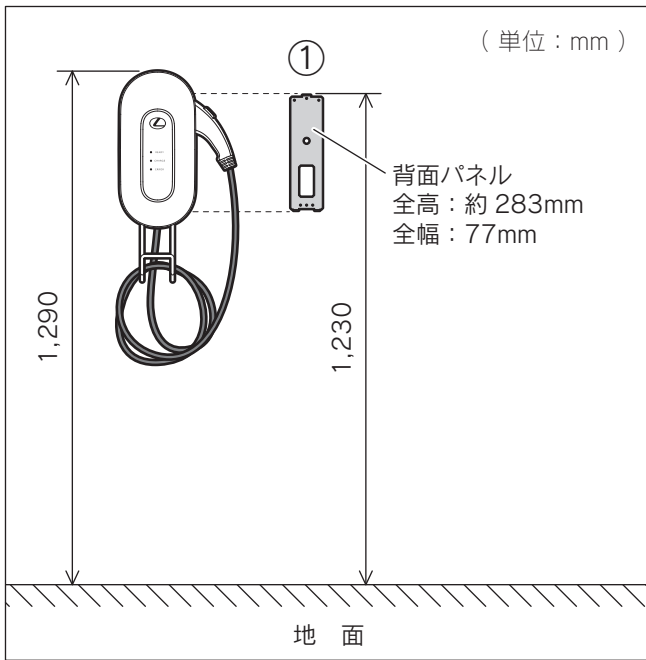
- ※ 推奨設置高さは、地面から充電器本体の最上部までを約 1,290mm、本体外形より上面は 100mm 以上、右面は 300mm 以上、左面は 100mm 以上空けて設置してください。

アドバイス

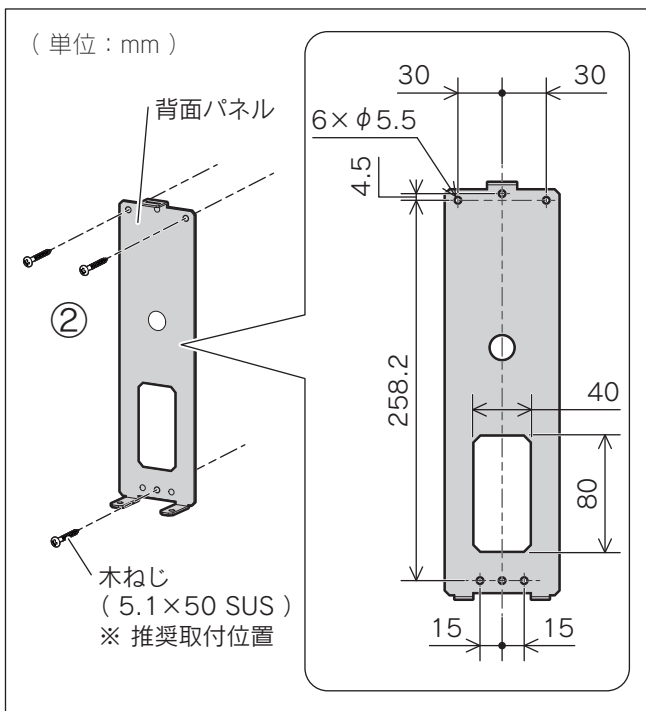
設置に必要なスペースを確保するとともに、操作に支障がないことを確認して設置してください。

・充電器の設置

■ 露出配線の場合



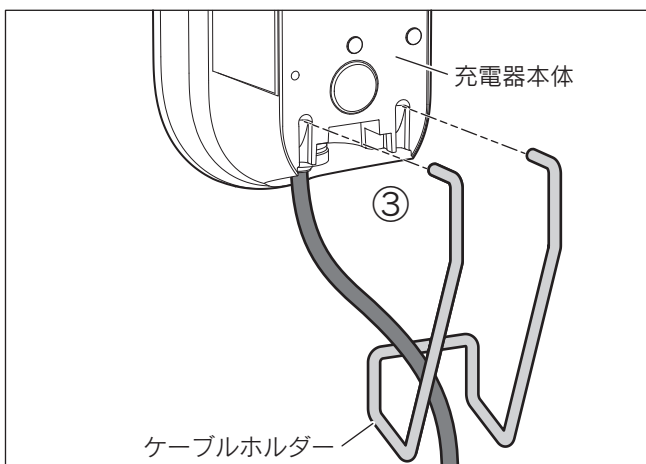
- ① 地面から約 1,230mm の高さに背面パネルの上部がくるように取付位置を決めます。
※ 背面パネルの取付は幅 77mm 以上の壁面（ポール含む）に設置してください。



- ② 充電器の取付位置を決めた壁面に、背面パネルの垂直・水平を確認して背面パネルの上部の 3 つの取付穴に 2 箇所、下部の 3 つの取付穴に 1 箇所、合計 3 本の付属の木ねじ（5.1×50 SUS）で固定します。
※ 木ねじの推奨取付位置については左図参照

注意

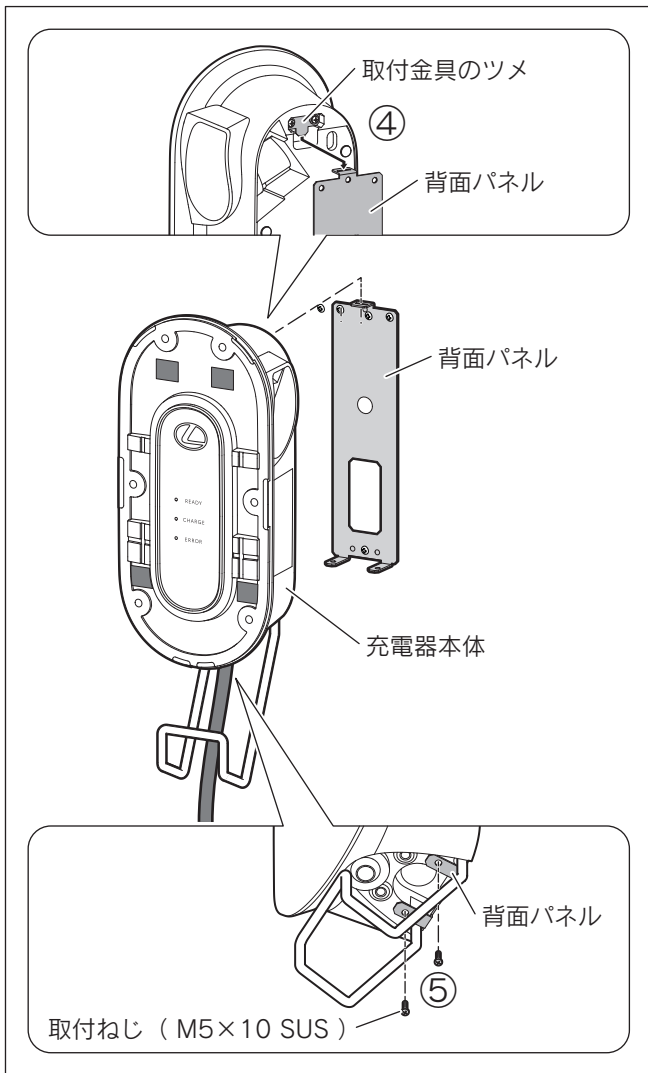
- 付属されている木ねじは、充電器を取り付ける壁の材質が木を想定しておりますので、壁の材質によって取り付けるねじの種類を施工業者さままでご準備ください
- 壁面内部に影響がないようにねじの長さを選定する



- ③ ケーブルホルダーを充電器本体背面側の下部に差し込みます。

アドバイス

この段階では、まだケーブルホルダーは固定されていないので、手で押さえながら作業してください。



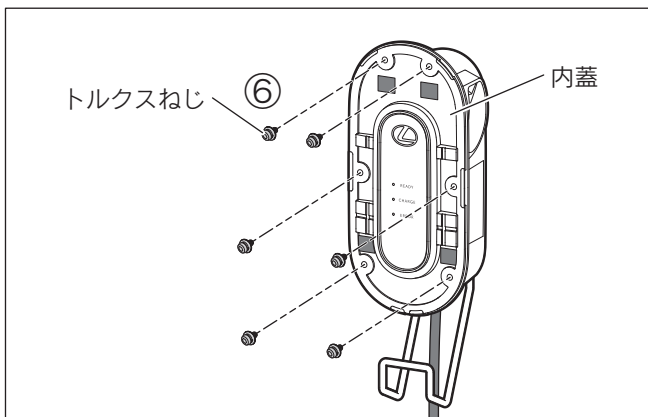
④ 背面パネルの上部に、充電器本体の取付金具のツメをかけてください。



アドバイス

充電コネクタケーブルをケーブルホルダーの間を通すか、脇から出すかはお客様のお好みや設置場所に合わせて決めてください。

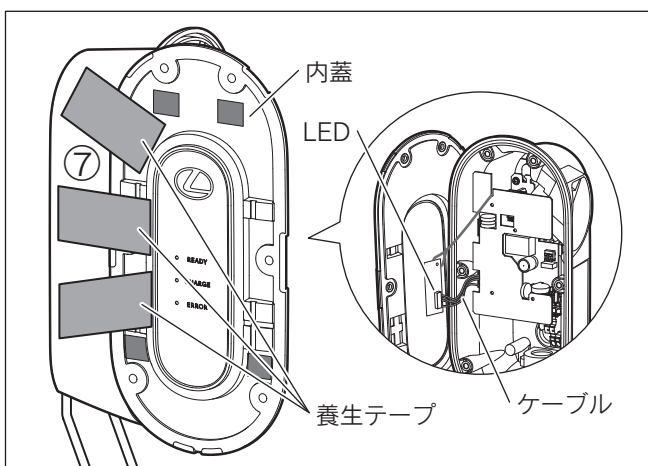
⑤ 充電器本体の下部も背面パネルに合わせ、下から取付ねじ (M5×10 SUS) 2個で固定してください。



⑥ 充電器本体のトルクスねじ (6個) を外し、内蓋を開けてください。

注意

- 内蓋には、保護ワイヤーが付けられていますが、LED と本体を繋ぐケーブルが取り付けられているため、勢いよく内蓋を開けず丁寧に開ける
- LED と本体を繋ぐケーブルのコネクタを外さない
充電器の状態がわからないため、異常な状態で使用を続けるとけがや製品破損の原因となります。

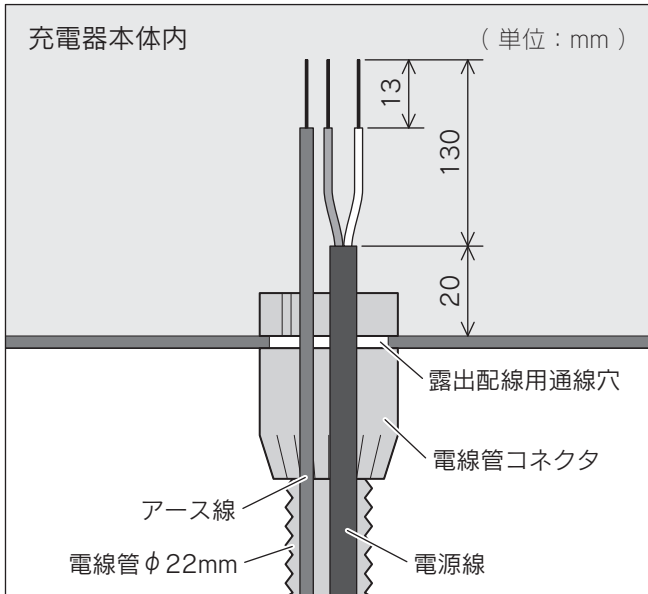


⑦ 内蓋が開いた状態を養生テープで保持してください。



アドバイス

内蓋に付いている LED と本体を繋ぐケーブルにテンションがかからないように養生テープで固定して作業してください。

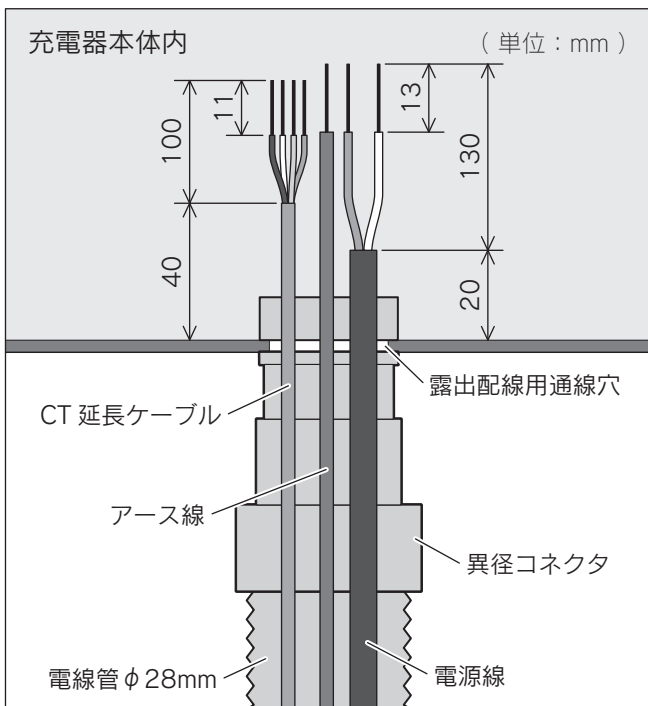


- ⑧ 充電器本体の通線穴から電源線などの中へ引き入れます。
 ※ 図の寸法を目安に、施工しやすい長さに調整して、壁から引き出してください。



■ デマンドコントロール機能 (オプション) を利用しない場合

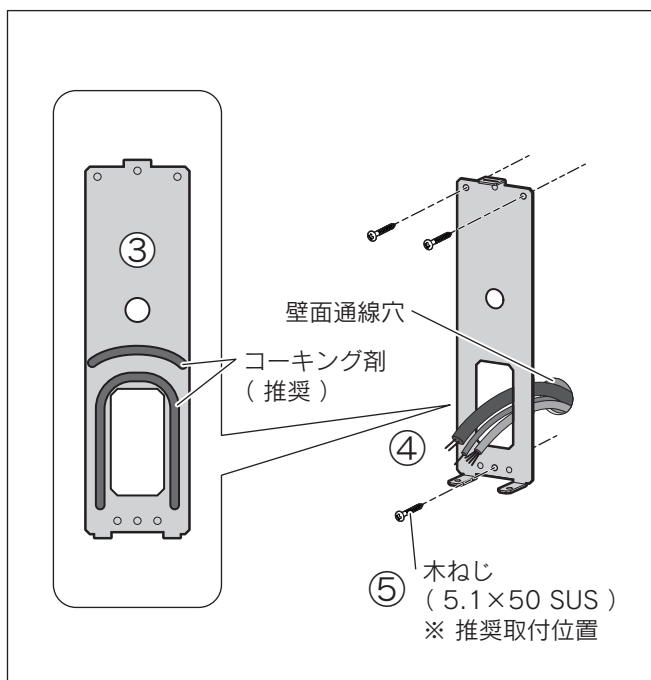
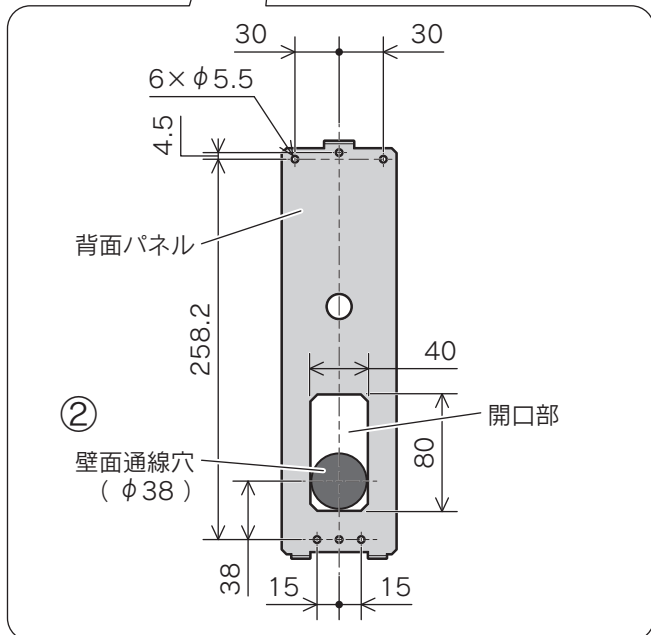
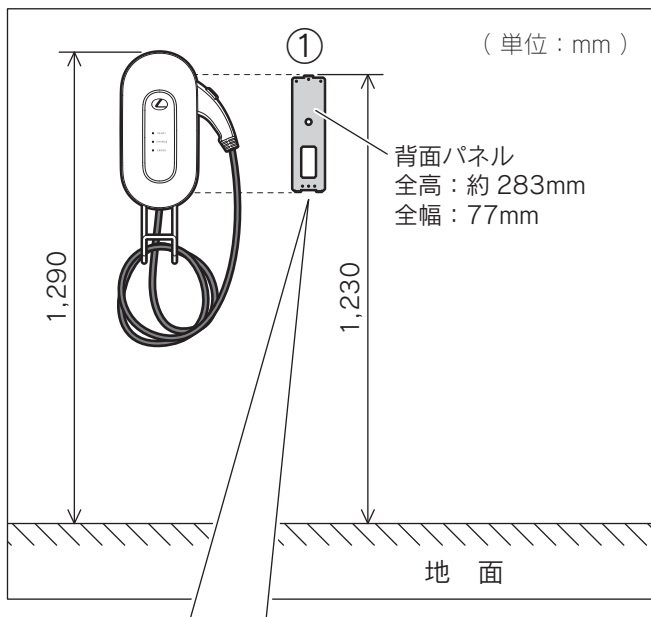
電源線、アース線を電線管 ϕ 22mm に通し、露出配線用通線穴に電線管コネクタを使って電線管を固定して電源線、アース線を充電器本体の中へ引き入れます。



■ デマンドコントロール機能 (オプション) を利用する場合

電源線、アース線、CT 延長ケーブルを電線管 ϕ 28mm に通し、露出配線用通線穴に異径コネクタを使って電線管を固定して電源線、アース線、CT 延長ケーブルを充電器本体の中へ引き入れます。

■ 壁内配線の場合



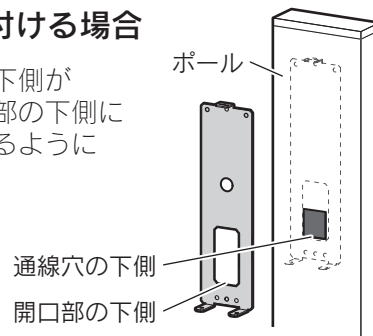
- ① 地面から約 1,230mm の高さに背面パネルの上部がくるように取付位置を決めます。
※ 背面パネルの取付は幅 77mm 以上の壁面（ポール含む）に設置してください。

注意

- 壁面通線穴が背面パネルの開口部の下側になるように取り付ける

■ ポールに取り付ける場合

ポールの通線穴の下側が背面パネルの開口部の下側に合わせ、取り付けるようにしてください。



- ② 取り付ける壁に背面穴加工用ホルソーで直径 38mm の壁面通線穴を開けて、電源線、アース線、CT 延長ケーブル（デマンドコントロール機能（オプション）を利用する場合）200mm 以上出しておきます。

- ③ 壁面に接する背面パネルの面にコーキング剤（推奨）を塗ります。

- ④ 壁面通線穴に通した電源線、アース線、CT 延長ケーブル（デマンドコントロール機能（オプション）を利用する場合）を、背面パネルに通します。

- ⑤ 背面パネルの垂直・水平を確認し壁面に貼り付け、上部の 3 つの取付穴に 2 箇所、下部の 3 つの取付穴に 1 箇所、合計 3 本の付属の木ねじ（5.1×50 SUS）で固定します。
※ 木ねじの推奨取付位置については左図参照

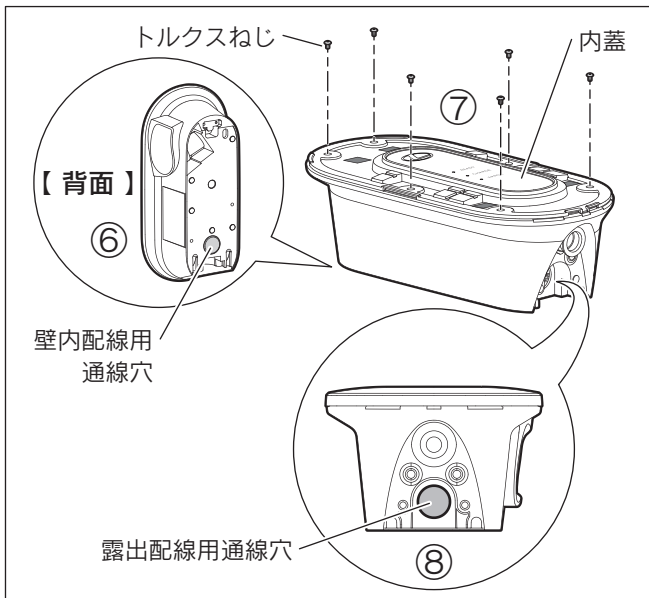


アドバイス

付属されている木ねじは、充電器を取り付ける壁の材質が木を想定しておりますので、壁の材質によって取り付けるねじの種類を施工業者さまでご準備ください

注意

- 壁面内部に影響がないようにねじの長さを選定する



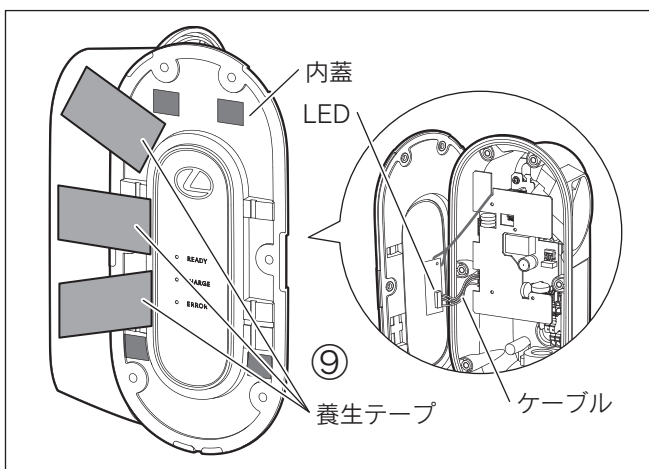
- ⑥ 充電器本体の壁内配線用通線穴の膜付グロメットにカッターで通線用の切り込みを入れます。
- ⑦ 充電器本体のトルクスねじ（6個）を外し、内蓋を開けてください。

注意

- 内蓋には、保護ワイヤーが付けられていますが、LEDと本体を繋ぐケーブルが取り付けられているため、勢いよく内蓋を開けず丁寧に開ける
- LEDと本体を繋ぐケーブルのコネクタを外さない
充電器の状態がわからないため、異常な状態で使用を続けるとけがや製品破損の原因となります。

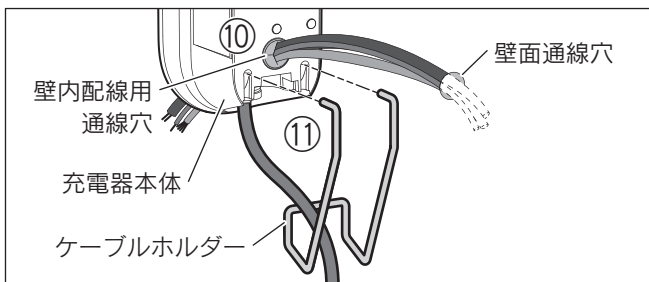
- ⑧ 充電器本体の底面の露出配線用通線穴に電線管キャップまたはグロメットなどを使って穴を閉じてください。

- ⑨ 内蓋が開いた状態を養生テープで保持してください。



アドバイス

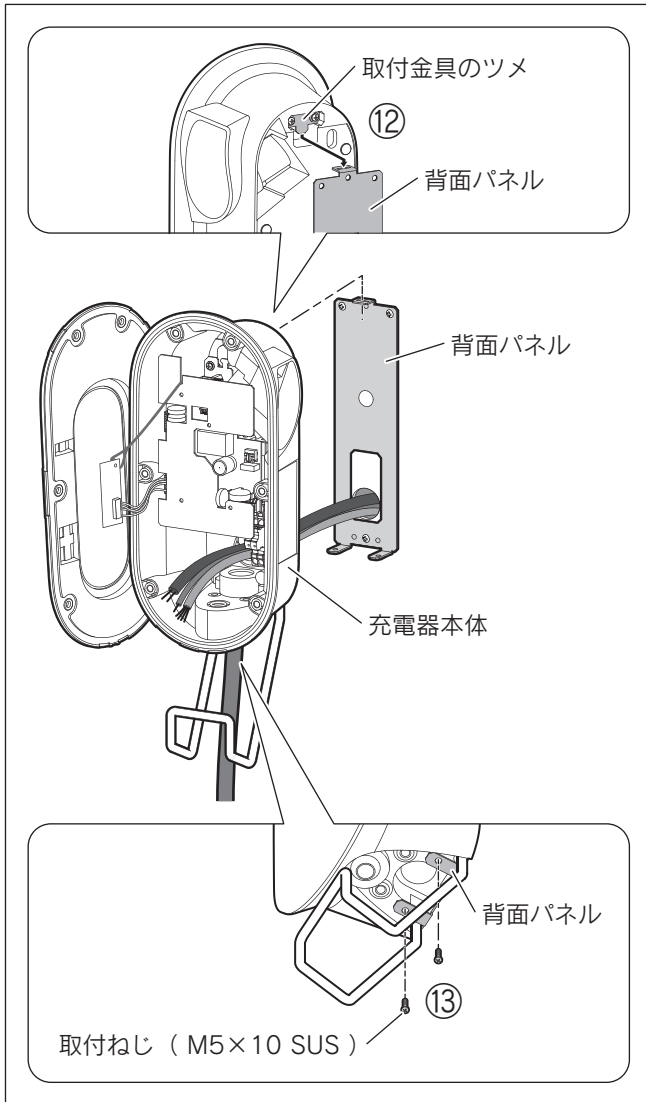
内蓋に付いているLEDと本体を繋ぐケーブルにテンションがかからないように養生テープで固定して作業してください。



- ⑩ 壁面通線穴から出した電源線とアース線、CT延長ケーブル（デマンドコントロール機能（オプション）を利用する場合）を充電器本体の壁内配線用通線穴から引き込みます。
- ⑪ ケーブルホルダーを充電器本体背面側の下部に差し込みます。

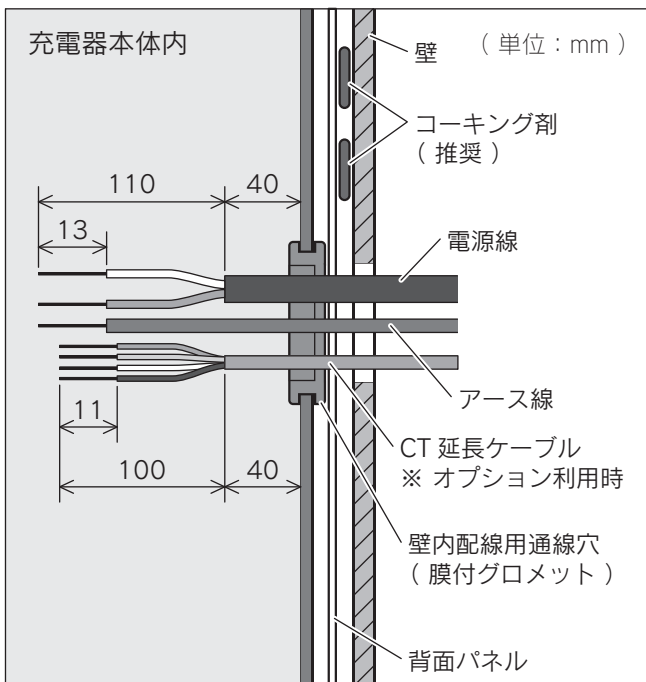
アドバイス

この段階では、まだケーブルホルダーは固定されていないので、手で押さえながら作業してください。



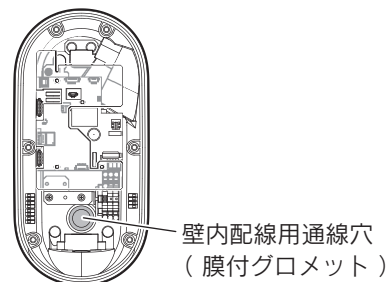
⑫ 背面パネルの上部に、充電器本体の取付金具のツメを付けてください。

⑬ 充電器本体の下部も背面パネルに合わせ、下から取付ねじ (M5×10 SUS) 2個で固定してください。



⑭ 電源線、アース線、CT 延長ケーブル (デマンドコントロール機能 (オプション) を利用する場合のみ) を壁面から取り出し、カッターで切れ目を入れた壁内配線用通線穴のグロメットに通します。

※ 図の寸法を目安に、施工しやすい長さに調整して、壁から引き出してください。



結線方法

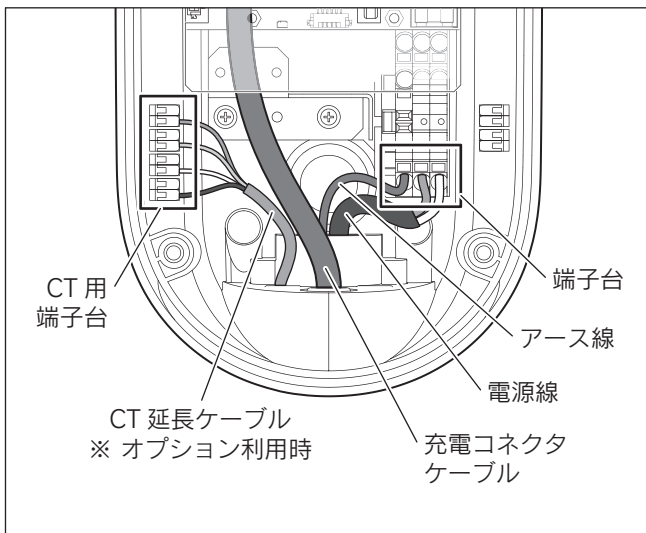
警告

- 電気工事は「有資格者」がおこなう
有資格者以外の作業は法律で禁止されています。
- 施工時は必ず専用分岐回路（漏電ブレーカー）を「OFF」にする
活線状態での施工は感電して重傷を負う恐れがあります。
- D種接地工事（接地抵抗 100Ω以下（本書指定仕様の施工を行う場合は 500Ω以下））をおこなう
感電・火災の原因となります。

注意

- 「電気設備の技術基準」、「内線規程」に従って施工し、必ず専用回路を使用する
- 結線前に必要な工具や部材（P.02）を確認し準備する
- 必ず1回路につき1個の漏電ブレーカーを設置する

・結線方法（共通）

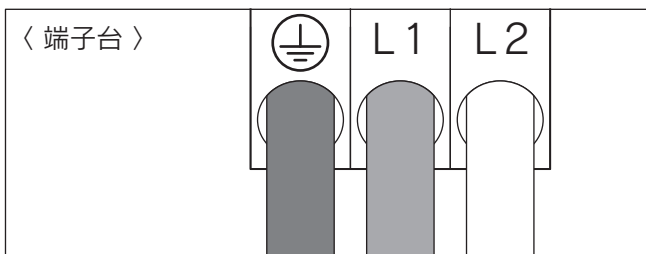


アドバイス

端子台およびCT用端子台から、芯線が見えないようにしてください。

アドバイス

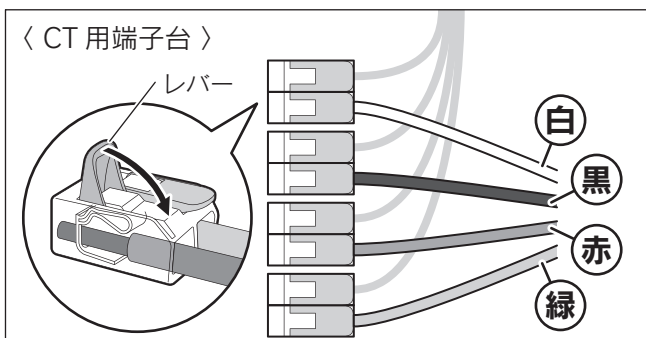
結線後は絶縁抵抗測定ができないため、結線前に絶縁抵抗測定を行ってください。
測定においては、配線端部の絶縁処理をおこない安全に配慮してください。



被覆を剥いたアース線と電源線を端子台の奥までしっかりと差し込み接続します。

アドバイス

漏電ブレーカーのL1、L2に接続した電源線は、端子台のL1、L2に必ず接続してください。



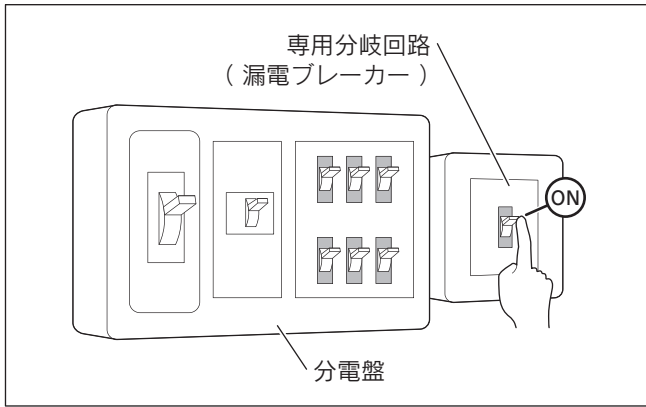
■ デマンドコントロール機能（オプション）を利用する場合

CT用端子台のレバーを引き上げます。
CT延長ケーブルの端部をCT端子台へ奥までしっかりと差し込みレバーを下げ接続してください。

アドバイス

コネクタへ差し込んである充電器の配線と同一端子、同一色となるよう気をつけてください。

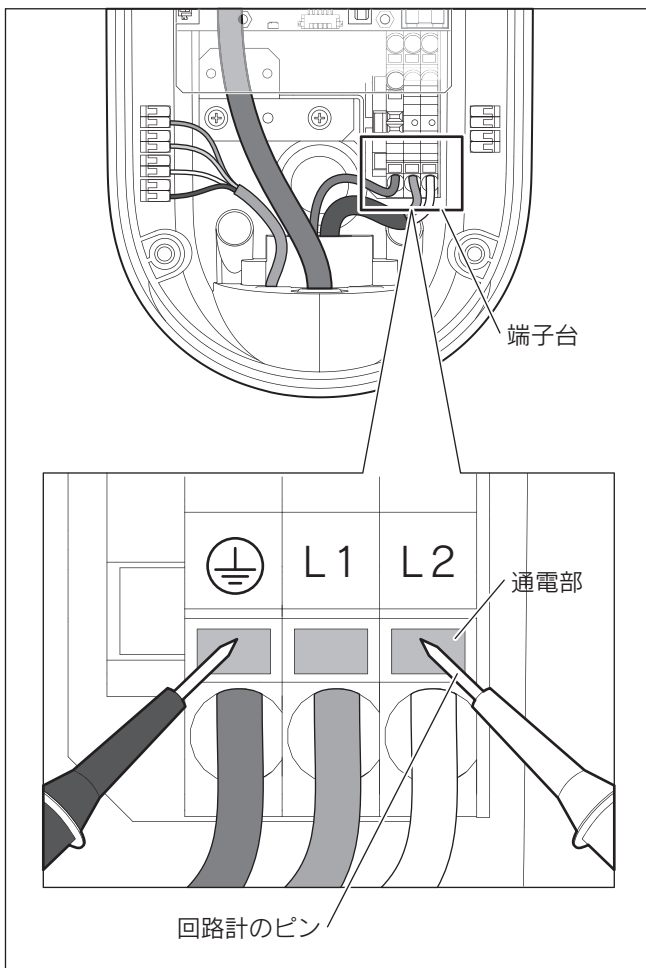
・ 入力電圧の確認



- ① 専用分岐回路（漏電ブレーカー）を「ON」にしてください。

⚠ 警告

- 通電部に触らない
感電して重傷を負う恐れがあります。
- 内部に水や異物を入れない
感電して重傷を負う恐れがあります。
また破損や故障する恐れがあります。

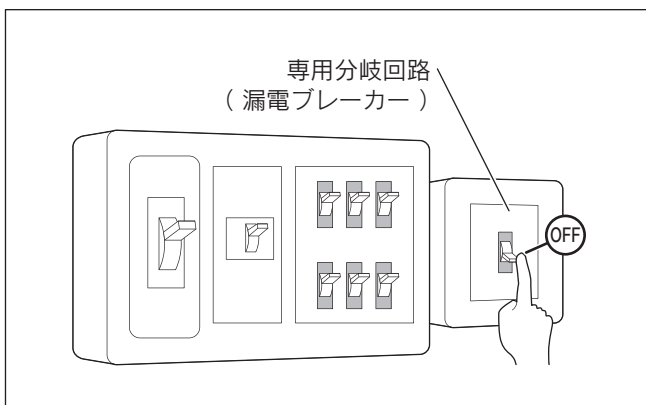


- ② 端子台の通電部（角穴）に回路計のピンを入れ軽くあてて、アースとL1間・アースとL2間がそれぞれAC100V、L1とL2間がAC200Vになっていることを確認してください。

アース	L1	L2	電圧
●	●	□	➡ AC100V
●	□	●	➡ AC100V
□	●	●	➡ AC200V

注意

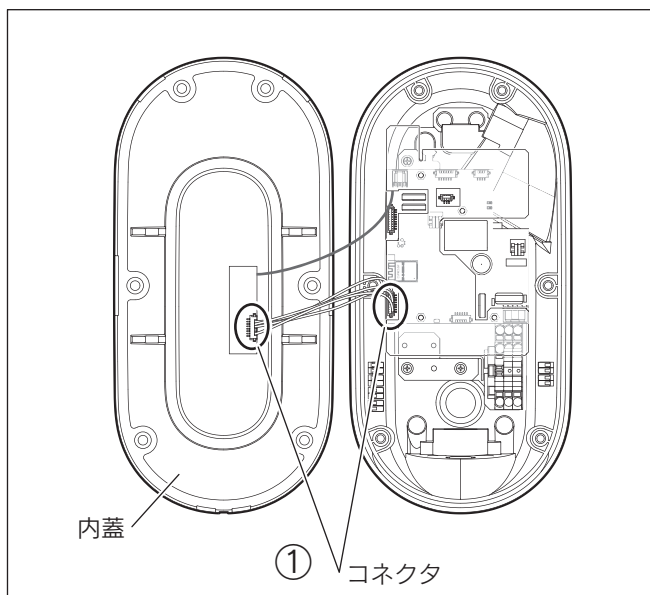
- 回路計のピンの太さがφ2以下の物を使用してください。
- 回路計のピンは操作用スロット（角穴）の通電部に軽くあてるのみとしてください。



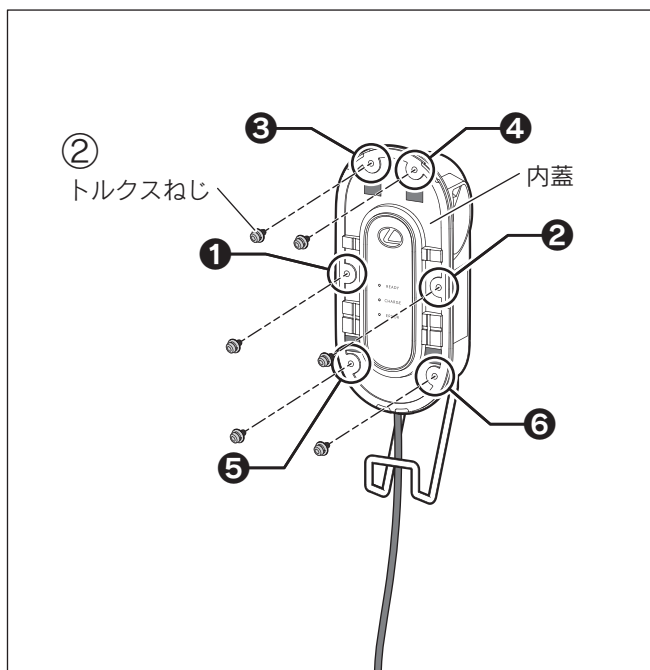
- ③ 専用分岐回路（漏電ブレーカー）を「OFF」にしてください。

- ④ 接地抵抗計で接地抵抗を測定してください。

・内蓋とトップカバーの取付（共通）



- ① 内蓋に付いている LED と本体を繋ぐケーブルのコネクタが外れていたり、差し込みが甘くなっている場合があります。内蓋側と充電器本体側の両方を確認してください。



- ② 養生テープを外し充電器本体と内蓋をトルクスねじで固定します。

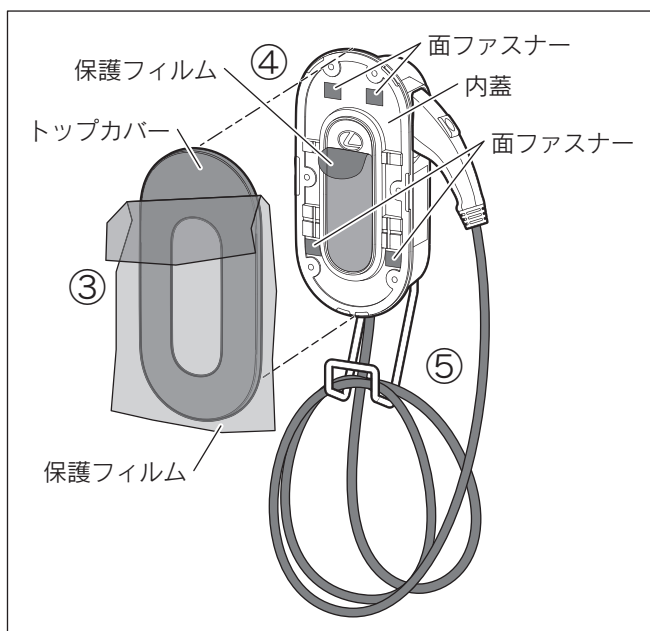
注意

- **必ず指定の順番（①～⑥）**で取り付ける
指定の順番で取り付けない場合、防水性能を確保できない可能性があります。
- **必ず、下記の推奨締付トルクで確実に固定・増し締めする**
推奨トルク値で固定・増し締めされていなかった場合、浸水などの恐れがあります。

締付トルク： 1.4 N・m

注意

- **充電器本体と内蓋の間にケーブル・ワイヤーを挟まないようにする**



- ③ トップカバーの保護フィルムを剥がします。
- ④ トップカバーを充電器本体の正面上からはめて、カチッと音がするまで押し当てます。その後、面ファスナー（4ヶ所）が密着するように押さえ、エンブレム表面の保護フィルムを剥がしてください。
- ⑤ 充電コネクタケーブルをケーブルホルダーに、地面に接触しないようにしながら八の字巻きで巻き付けてください。
（充電コネクタケーブルの推奨巻き回数は、約 5m：3 巻き、約 10m：6 巻き）
充電コネクタを充電コネクタホルダーに差し込みます。

八の字巻き動画の
QR コード

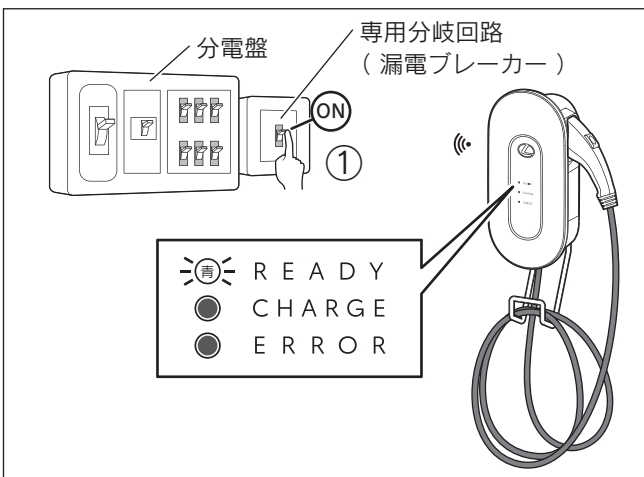


設定準備

注意

- 設定中に電源を切らない
充電器故障の原因になります。
- 誤った充電器への接続を防ぐため、取付要領書の裏表紙に貼付の QR コードから充電器のネットワークに接続する
- 充電器本体のすぐそばで設定用 Web 画面を使用する
充電器本体と端末までの間に距離や障害物があると、充電器のネットワークに接続できない恐れがあります。
- 「設定方法」に記載の URL 以外に、ブックマーク・履歴などで直接接続しない
- ブラウザの「戻る」「進む」機能は使用しない
- ログイン中に他（使用する端末・ブラウザ・タブ）からログインした場合、先にログインしていた環境はログアウトされます
- 使用する端末の設定によっては、本書記載通りに設定できない場合があります

・充電器のネットワークへの接続



アドバイス

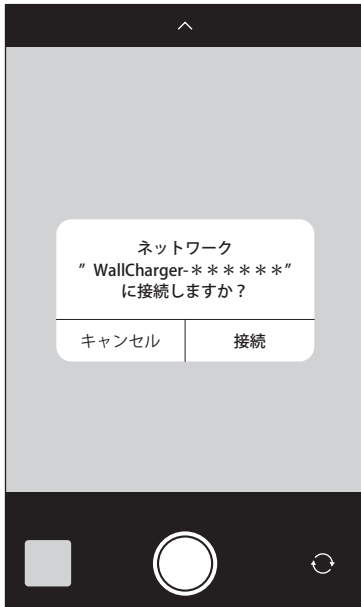
- ① 専用分岐回路（漏電ブレーカー）を「ON」にしてから充電器のネットワークへ接続できる時間は、30 分間のみです。
 - ② オプションを利用する場合、事前に以下を確認してください。
 - ・サービスブレーカー もしくは それに相当する機器の有無
 - ・主幹ブレーカーの容量
- ① 充電器の LED ランプが青色に点灯していることを確認してください。



- ② 端末のカメラアプリを起動し、本書の裏表紙に貼付されている『無線 LAN 接続用 QR コード (A)』を読み取ります。
ネットワークへの接続を促すポップアップが表示された場合、ポップアップをタップしてください。
※ 機種により、ポップアップの内容や位置は異なります。

アドバイス

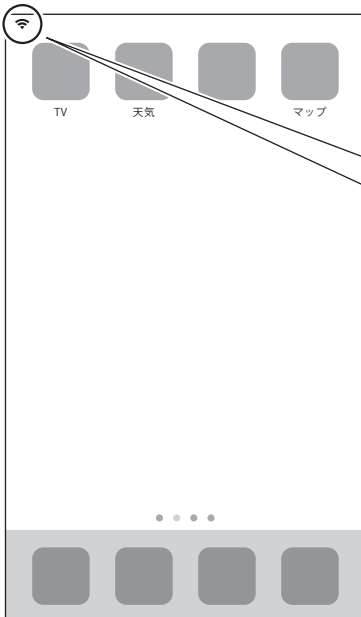
充電器のネットワークに接続する前に、他のネットワークと接続している場合は切断してください。



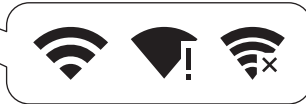
- ③ 接続確認のポップアップが表示された場合は [接続] をタップしてください。
 ※ 機種により、ポップアップは表示されない場合があります。

アドバイス

- ① 充電器起動後すぐは、端末が充電器のネットワークを検出できておらず、接続に失敗する可能性があります。
- ② 充電器のネットワークに接続できない場合は、一度専用分岐回路（漏電ブレーカー）を「OFF」して、再度「ON」にしてやり直してください。



- ④ ホーム画面に戻り、画面上部にアイコンが表示されていることを確認してください。
 ※ 機種により、アイコンに「！」や「×」が付いている場合がありますが、充電器設定画面の表示には影響ありません。




設定方法

・ 設定用Web画面にアクセス



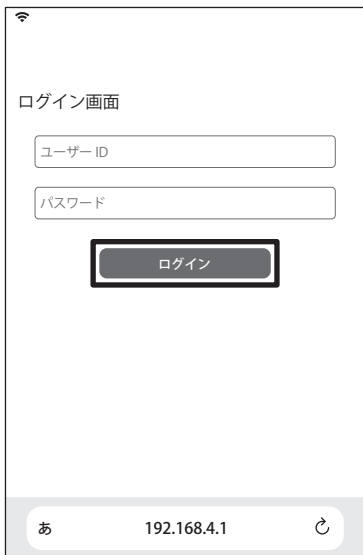
- ① 端末のカメラアプリを起動し、本書の裏表紙に記載の『設定用 Web 画面アクセス QR コード（B）』を読み取ります。
- ② Web 画面への接続を促すポップアップが表示された場合、ポップアップをタップしてください。
※ 機種により、ポップアップの内容や位置は異なります。

アドバイス

- ① QR コードを読み取れない場合は、Web ブラウザのアドレスバーに「http://192.168.4.1」を直接入力して、設定用の Web 画面にアクセスすることもできます。
- ② 画面上部に  アイコンがない場合は、専用分岐回路（漏電ブレーカー）を「OFF」して、再度「ON」にして「充電器のネットワークへの接続」からやり直してください。

ポップアップ

・ ログイン

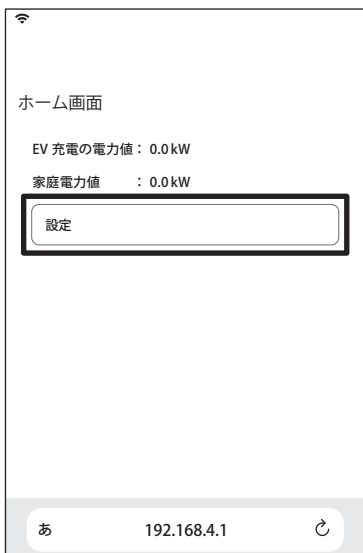


- ③ 専用のユーザー ID とパスワードを入力して、ログインしてください。

注意

■ この手順以降ブラウザの「戻る」「進む」機能は使用しない

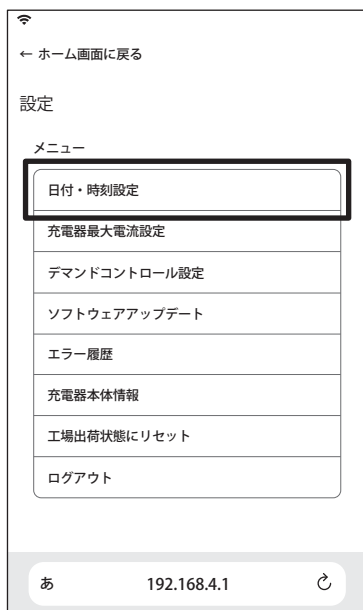
・ ホーム画面



- ④ ログイン後、ホーム画面の [設定] をタップし、メニュー画面にすることで各設定がおこなえます。

EV 充電の電力値	充電電力値を kW 単位で表示します。 値は 10 秒ごとに更新されます。
家庭電力値 (オプション)	ご家庭での買電、売電の電力値を kW 単位で表示します。 値は 10 秒ごとに更新されます。 ※ 電力値がプラスの場合は買電中、マイナスの場合は 売電中となります。

・日時・時刻設定



- ⑤ 端末日時を充電器本体に設定します。
[日付・時刻設定] をタップします。

注意

- 端末の日時が誤っている場合は、正しい日時に設定してから充電器本体の「日付・時刻設定」をおこなう



- ⑥ 充電器の現在時刻が表示されます。
⑦ 充電器に時刻を設定する場合、[設定] をタップしてください。
設定しない場合、[←設定メニュー画面に戻る] をタップし、設定メニュー画面に戻ってください。

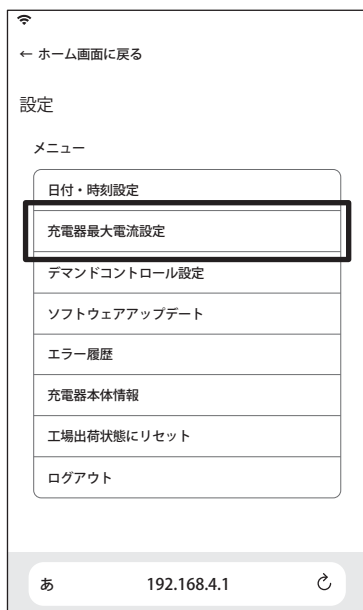


- ⑧ 設定に成功すると「日付・時刻設定 設定完了」画面になります。
⑨ [←設定メニュー画面に戻る] をタップし、設定メニュー画面に戻ってください。

注意

- 左記の画面以外が表示された場合は、一度設定メニュー画面に戻り、再度設定する

・充電器最大電流設定



⑩ 充電器で使用できる最大の電流値を設定します。

下記の 2 点を確認後 [充電器最大電流設定] をタップします。

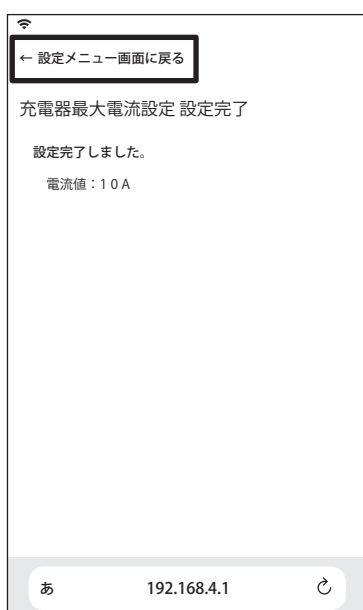
- ・ 充電器の表示ランプの「READY」が青色に点灯していること
- ・ 充電コネクタが充電コネクタホルダーに差し込まれていること



⑪ 現在設定されている電流値が表示されます。

⑫ 「電流値」を指定し、[設定] をタップすると、電流値が設定されます。

電流値	<p>充電器が使用できる最大の電流値です。 専用分岐回路（漏電ブレーカー）の容量やお客様のご要望に応じて設定してください。 例：充電器の出力を 6kW とする場合：30A 充電器の出力を 3kW とする場合：15A</p>
-----	---



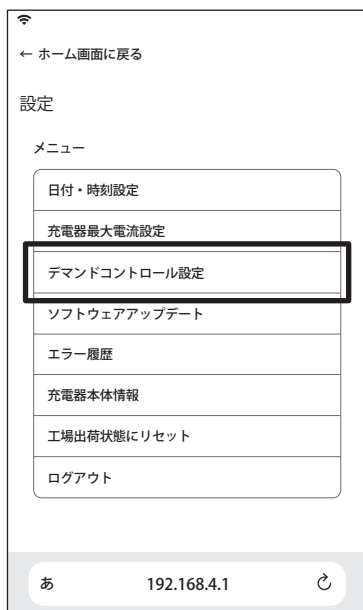
⑬ 設定に成功すると「充電器最大電流設定 設定完了」画面になります。

⑭ [←設定メニュー画面に戻る] をタップし、設定メニュー画面に戻ってください。

注意

- 左記の画面以外が表示された場合は、一度設定メニュー画面に戻り、再度設定する

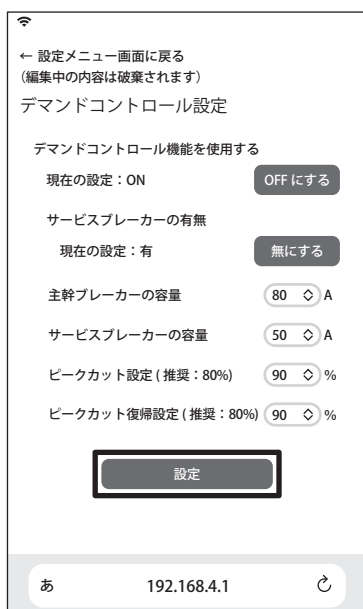
・デマンドコントロール設定（オプションを利用時）



⑮ オプションのデマンドコントロール機能を設定します。

下記の2点を確認後「デマンドコントロール設定」をタップします。

- ・充電器の表示ランプの「READY」が青色に点灯していること
- ・充電コネクタが充電コネクタホルダーに差し込まれていること



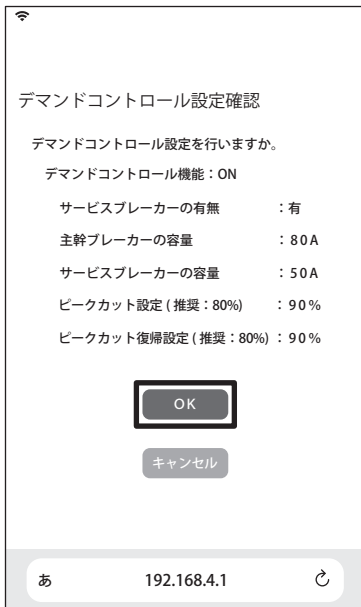
⑯ 現在設定されている内容が表示されます。

⑰ オプションを利用する場合は、下記の設定をおこない「設定」をタップします。

デマンドコントロール機能	オプションのデマンドコントロール機能を利用する場合は「ON」に設定してください。「OFF」にした場合、下記設定はおこなえません。
サービスブレーカーの有無	ご契約中の電力会社や契約種別からサービスブレーカーもしくはそれに相当する機器があるか確認した上で設定してください。サービスブレーカーもしくはそれに相当する機器がある場合は、サービスブレーカーの有無を「有にする」にし、無い場合は、「無にする」にしてください。「無にする」にした場合は、サービスブレーカーの容量などの設定はおこなえません。
主幹ブレーカーの容量	設置するご家庭のホーム分電盤に搭載された主幹ブレーカーの容量を設定してください。
サービスブレーカーの容量	ご家庭の契約アンペアを、サービスブレーカーの容量として設定してください。 例：契約アンペア：60A → サービスブレーカーの容量：60A
ピークカット設定	設定値を超えた場合に充電電流を制限します。基本的には90%に設定してください。
ピークカット復帰設定	ピークカット復帰設定を下回った場合に充電電流を復帰しはじめます。ピークカット設定以下の値に設定してください。基本的には90%に設定してください。

注意

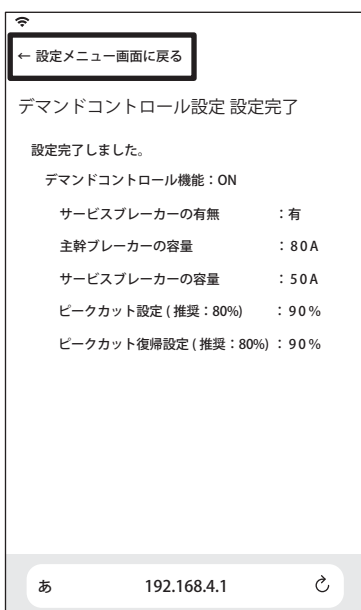
- デマンドコントロール機能により、充電器の出力が6A未満になる場合には、充電が停止します



⑱ 設定内容に問題ないことを確認し、[OK] をタップします。

注意

■ 設定値を誤ると、ご家庭のブレーカーがトリップしたり、充電ができなくなったりするため、設定値が正しいか必ず確認する



⑲ 設定に成功すると

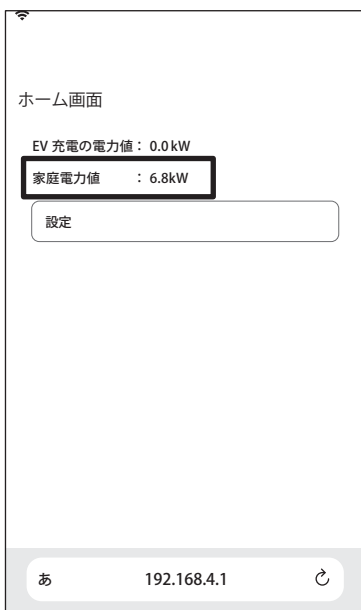
「デマンドコントロール設定 設定完了」画面になります。

⑳ [← 設定メニュー画面に戻る] をタップし、設定メニュー画面に戻ってください。

注意

■ 左記の画面以外が表示された場合は、一度設定メニュー画面に戻り、再度設定する

・ 家庭電力値と計測値（オプション利用時）



オプション利用時は、下記の確認をおこなってください。

- ① ホーム分電盤の L1 と L2 の電流値をクランプメーターで計測する。
- ② 下記の計算結果と設定用 Web 画面に表示される家庭電力値が一致していることを確認する。

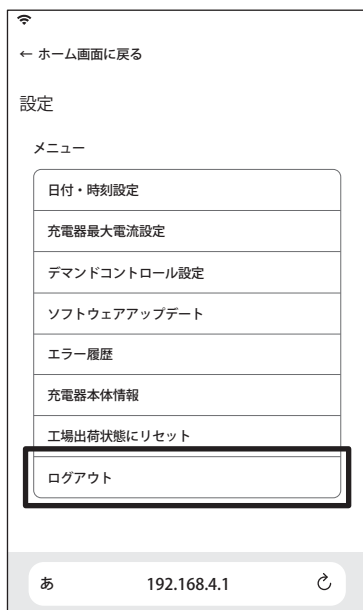
$$(L1 \text{ 電流値 (A)} + L2 \text{ 電流値 (A)}) \times 100 (V) / 1000$$

- ※ 設定用 Web 画面に表示される電力値がプラスの場合は買電中、マイナスの場合は売電中となります。
- ※ 家庭電力値と計測値が一致しない場合以下を確認してください。
 - ・ CT センサーの向きが正しいこと
 - ・ 配線が正しいこと
 - ・ CT センサーが L1、L2 にそれぞれ正しくついていること

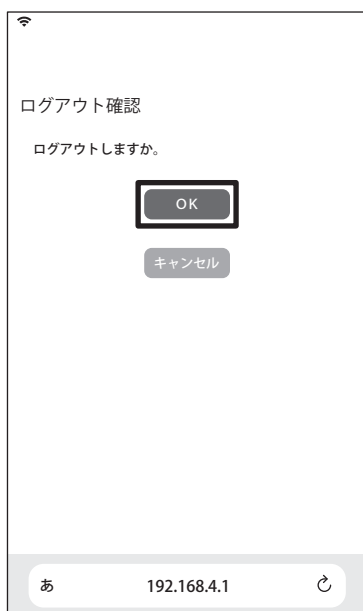
注意

■ 設定用 Web 画面に表示される家庭電力値とクランプメーターの計測値が一致しない場合、ご家庭のブレーカーがトリップしたり充電ができなくなります

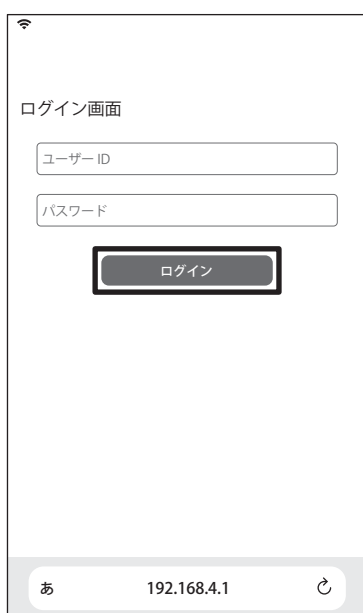
・ ログアウト



- ① 設定完了後はログアウトしてください。
[ログアウト] をタップします。



- ② [OK] をタップすると、ログアウトします。

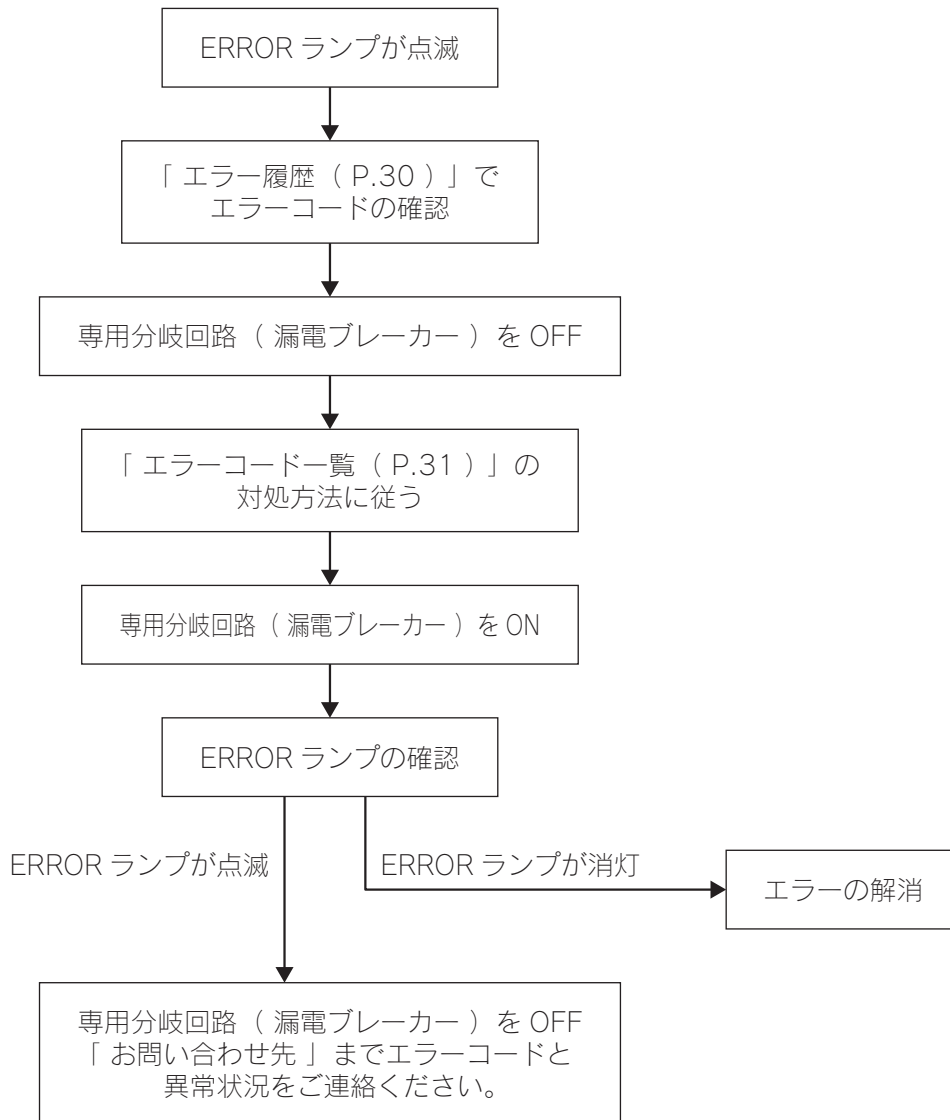


- ③ ログアウトすると「ログイン」画面になります。

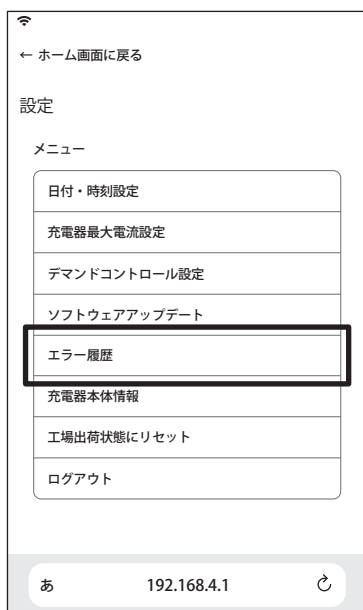
エラー表示がでたら

・表示ランプ「ERROR」が点滅している時の対応

P.23に記載の方法で設定画面にログイン後、おこなってください。



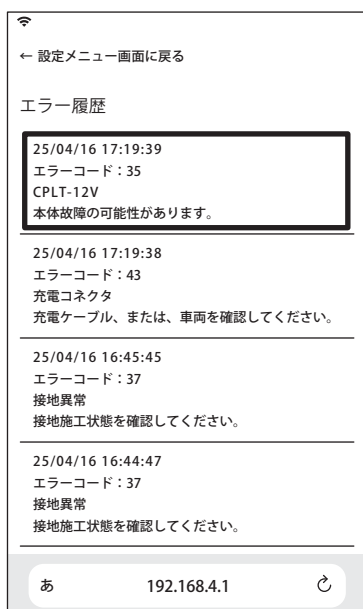
・エラー履歴



- ① ERROR ランプが点滅している場合、ホーム画面の「設定」をタップし、「設定メニュー画面」を表示後、「エラー履歴」をタップします。

アドバイス

「日時・時刻設定」画面で、充電器本体の時刻を確認してください。



- ② エラー履歴が表示されます。
エラーコードを確認してください。

アドバイス

エラー履歴は最大 20 件分表示されます。
一度もエラーが発生していない場合、エラー履歴には何も表示されません。







- ③ 該当エラーの詳細を表示したい場合は、エラー発生日時、エラーコードまたは エラーメッセージをタップします。



- ④ タップしたエラーの詳細を表示します。
「エラー詳細」は、上から順にエラー発生 2 秒前、1 秒前、エラー発生時、1 秒後、2 秒後の情報を表示します。

・エラーコード一覧

 感電などリスクの高いエラー

ERROR ランプ	エラーコード	エラー内容	対処方法
2 回点滅	31	リレー溶着エラー 	エラーコードと異常の状況を「お問い合わせ先」までご連絡ください。
	32	リレー不動エラー	
	34	CPLT (duty) エラー	
	35	CPLT (-12V) エラー	
	36	自己漏電エラー 	
	44	記憶領域異常	
	50	マイコンセルフチェック異常	
	51	電流センサーエラー	
	52	温度センサー異常 	
	54	IO Expander 通信エラー	
	55	ADC 通信エラー	
	56	設定ファイル壊れエラー	
	60	通電機能停止予告 (充電回数による)	
	61	通電機能停止 (充電回数による)	
91、94、95	高温検出 (内部) 		
3 回点滅	33	漏電エラー (実漏電時) 	漏電の発生個所を特定し、適切に対処してください。
	37	接地異常検知エラー	D 種接地工事 (本書指定仕様の施工を行う場合は接地抵抗 500Ω以下) が適切におこなわれていることを確認してください。
	39	過電圧送電系統品質エラー	商用電源単相 2 線式 AC200V を使用していること。
	92、93	高温検出 (入力部) 	端子台の電源線入力部の差込状態を触らないように目視で確認してください。
5 回点滅	40	車両過電流エラー	充電チェッカーまたは別車両にて充電確認をおこなってください。
	43	充電コネクタ短絡エラー (State E)	充電コネクタ および 充電コネクタケーブルの外観確認をおこなってください。

無線LAN接続用QRコード（A）



設定用Web画面アクセスQRコード（B）



QRコードは、株式会社デンソーウェーブの商標または登録商標です。
トルクスは、Acument社の商標または、登録商標です。

お問い合わせ先

■ 使い方・お手入れ・修理など

ご購入いただいた販売店舗（ディーラー）へお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

取扱書のP.11「故障かな？と思ったら」でご確認のあと、直らないときは、専用分岐回路（漏電ブレーカー）をOFFにして電源を切り、ご購入いただいた販売店舗（ディーラー）へお問い合わせください。

製品名 レクサス6kW充電器

品番 G95A0-46010

G95A0-46020

お引き渡し日 年 月 日

販売店名

電話番号（ ） -